

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-69	中学校	外国語	英語	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
9 開隆堂	英語 009-82	Sunshine English Course 2		

1. 編修の基本方針

教育基本法、学校教育法を精神を教材の中で具体化するとともに、学習指導要領に示された目標と内容に沿って、外国語を使って豊かなコミュニケーションを図る資質・能力を養うことを目指し、以下の基本方針を設定しました。

自ら考え、行動し、目標に向かって主体的に学習が進められる教科書

小学校での外国語（英語）の基礎の上に立って、いっそうコミュニケーション能力を伸ばすために、「話すこと」を軸にして4技能5領域の能力を総合的に扱い、統合的に活用して思考力、判断力、表現力を育成する構成です。また、我が国と諸外国の伝統や文化を尊重する態度を育成します。

1

生きたコミュニケーション能力が
身につき、自己肯定感を育みます。

1. 身の回りの場面から社会的な場面まで、自分のことばとして英語を使う力がつきます。
2. 「何のために」「だれに向けて」を意識したコミュニケーション活動が実施できます。
3. 即興でコミュニケーションができる能力を育みます。

●主人公

古瀬 真央



2

確かな学力が身につきます。

1. 学習事項について、生徒に気づきを促し、自律的な学習者を育てます。
2. 3年間を見通した学習を可能にしています。
3. 知識・技能を習得し、それを活用して課題を解決する力が身につきます。

3

「地球市民」としての
豊かな感性を育みます。

1. 日常生活だけでなく、環境、平和、人権、共生などの現代的課題を扱い、多様なものの見方や考え方について、生徒に思考力・判断力を促す題材を精選しました。
2. 自国の伝統と文化を尊重するとともに、他国も尊重し、国際社会に寄与する意識を育てる題材を配置しています。

1

生きたコミュニケーション能力が身につき、自己肯定感を育みます。

1. 身の回りの場面から社会的な場面まで、自分のことばとして英語を使う力がつきます。

本教科書では、各学年に3か所（※3年生のみ2か所）に、統合的なパフォーマンス活動を行う Our Project を設けています。場面と内容は発達段階に応じて徐々に難易度を上げ、最終的には社会的な場面で自分のことばとして英語を使う力を育てます。

	身の回りの場面		社会的な場面
Our Project 一覧	1年生	2年生	3年生
	① 自己紹介 (あなたの知らない私) ② 他者紹介 (この人を知っていますか) ③ Show & Tell (私が選んだ1枚)	④ グループプレゼンテーション (海外でヒットするラーメンのCMを作ろう) ⑤ ポスター発表 (日本のおすすめスポットを紹介しよう) ⑥ 尊敬する人物についてのスピーチ (My Heroの魅力伝えよう)	⑦ ポスターセッション (パラスポーツについて知ろう) ⑧ ディスカッション (レストランにSDGsの取り組みを提案しよう)




2. 「何のために」「だれに向けて」を意識したコミュニケーション活動が実施できます。


活動には場面性をもたせ、ペアやグループで行う活動を数多く設定することで、目的と相手を意識したコミュニケーション活動が行えるように配慮しています。

2 次の①～③の状況のとき、店員役と客役に分かれてペアで話しましょう。


① 4人で来た
スープを注文したい



② 2人で来た
サラダを注文したい
2人で分けたい



③ 2人で来た
ステーキを注文したい
焼き加減はミディアム
コーヒーも飲みたい



MENU

SOUP	SALAD
corn soup	tomato salad
onion soup	potato salad
vegetable soup	Caesar salad
STEAK	
Sunshine Steak (rare / medium / well-done)	

(p.61 Power-Up 3)

3. 即興でコミュニケーションができる能力を育みます。

通常課 (PROGRAM) には、即興でのコミュニケーション活動を行う Small Talk のコーナーを3か所ずつ設けました。これを積み上げていくことで、Our Project において書いた原稿を読み上げるのではなく、メモをもとに発表したり、友だちの発表に対して即興で質問やコメントなどの「やり取り」をしたりする力が身につきます。

Small Talk 最近わくわくしたことから話そう。

Small Talk 自分の家のルールについて話そう。

(p.54, 66)

最近わくわくしたこと

▶ p.54

I was excited to see a World Cup game.

(p.164)

2

確かな学力が身につきます。

1. 学習事項について、生徒に気づきを促し、自律的な学習者を育てます。

新出表現の導入は2コマのマンガ形式で示すことにより、文字が読めなくても、イラストや音声を頼りに内容を推測できるように配慮しました。また、基本的には文法シラバスで構成されていますが、Small Talkのコーナー（p.2参照）には既出表現を繰り返し使う機会を設け、スパイラルな学習ができるように配慮しました。

3 いいもの貸してあげる

● lend +人+もの
 [～に…を貸す]

Where are you going to work?



At a supermarket.

Then, I'll lend you this apron.



Thanks ...

(p.66 PROGRAM 5)

2. 自己の達成度を確認し、今後の学習に生かします。

各課で「できるようになったこと」を確認する「CAN-DO リスト」を巻末に掲載し、自分が身につけたことの軌跡がわかるようにしました。理解度を3段階で自己評価できるようにしているので、定着が弱いと感じたものについても復習しやすくなっています。

PROGRAM 2		Koshien Project in Africa					Grammar Points
できること	聞いてわかる	読んでわかる	伝え合える	伝えられる	書ける		
自分や相手の考えについて	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	接続詞 (that)	
暇なときにすることなどについて	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	接続詞 (when)	
晴れ[雨] だったらすることなどについて	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	☺ ☺ ☺	接続詞 (if)	

(p.160 CAN-DOリストの一例)

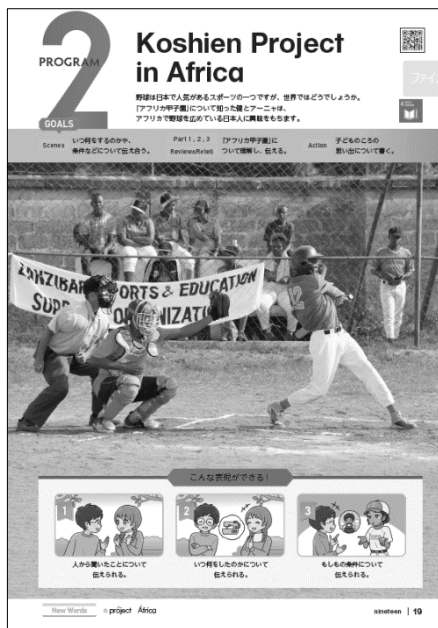
3. 知識・技能を習得し、それを活用して課題を解決する力が身につきます。

知識・技能を活用し、実際のコミュニケーションをする能力の育成をより重視しました。本教科書の Our Projectをはじめ、Power-Up、通常課のActionのコーナーでは、「伝え合う能力」、「話し合える能力」、「まとまりのある文章を書く能力」を段階的に身につけられるような活動を数多く設定しています。

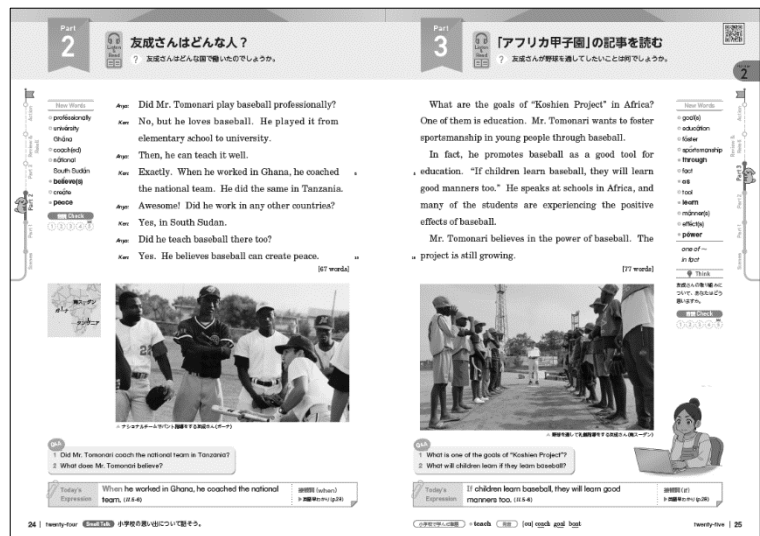
3

「地球市民」としての豊かな感性を育みます。

1. 日常生活だけでなく、環境、平和、人権、共生などの現代的課題を扱い、多様なものの見方や考え方について、生徒に思考力・判断力を促す題材を精選しました。



(p.19, 24-25)

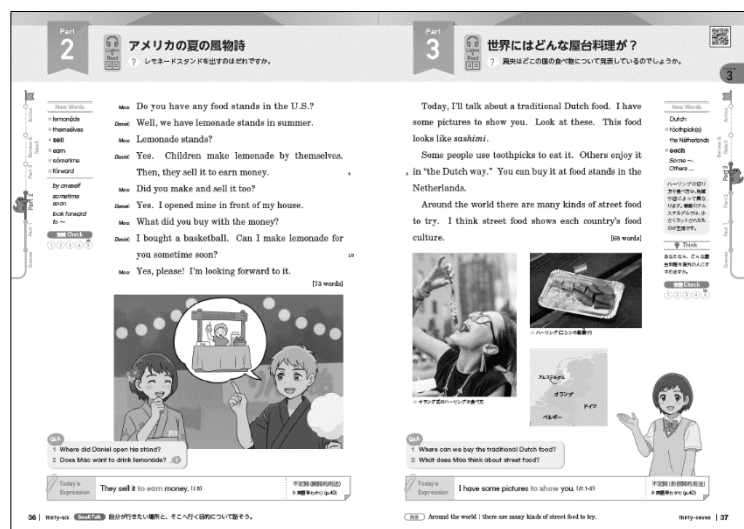


ガーナやタンザニア、南スーダンなどで野球のコーチを務めた友成晋也さんを題材に取り上げました。スポーツを通じての国際交流や、スポーツマン精神の育成について学びます。

2. 自国の伝統と文化を尊重するとともに、他国も尊重し、国際社会に寄与する意識を育てる題材を配置しています。



(p.31,36-37)



日本の屋台料理についてのおしゃべりから、世界の食文化に視野を広げます。アメリカやオランダならではの屋台料理について読むことで、他国の文化への興味・関心を高めます。

☞ その他の題材については、p.5 参照

2. 対照表

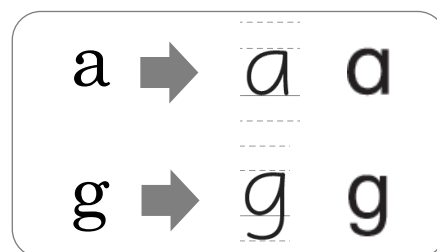
※ Prog…PROGRAM OP…Our Project

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
Prog. 1	New Start	登場人物たちのやりとりやメール文を読んで心情を考えたりするなかで、豊かな情操と道徳心を培います（第1号）。	pp.7-16
Prog. 2	Koshien Project in Africa	野球をアフリカに紹介する活動について読むことで、国際交流と発展に寄与する態度を養います（第5号）。	pp.19-28
Prog. 3	Taste of Culture	世界各国の屋台の文化を知ることで、他国の伝統と文化を尊重し、国際社会に生きる一員としての自覚を育みます（第5号）。	pp.31-40
OP 4	海外でヒットするラーメンのCMを作ろう	「海外でヒットしそうなラーメン」を企画して、グループで発表することで、創造性を培い、個人の価値を尊重する精神を養います（第2号）。	pp.41-45
Reading 1	The Three Dolls	3体の人形に隠された意味とそこから得られる教訓について読み、臨機応変な柔軟性と高い道徳心を養います（第1号）。	pp.46-49
Prog. 4	Leave Only Footprints	カナダの国立公園のルールやそこに住む生物について学び、環境を守ることの重要性を知ることで、環境保全の態度を養います（第4号）。	pp.51-60
Prog. 5	Work Experience	職場体験での経験について学習することで、勤労を重んずる態度を養うことができます（第2号）。	pp.65-74
Prog. 6	High-Tech Nature	自然を利用して開発された技術について学ぶことで、自然を大切にし、真理を求める態度を養います（第1、4号）。	pp.75-84
OP 5	日本のおすすめスポットを紹介しよう	おすすめスポットの情報をチラシにまとめて友だちと読み合うことで、他者との協力を重んじ、主体的に社会に参画する態度を養います（第3号）。	pp.87-91
Reading 2	Friendship beyond Time and Borders	トルコと日本の友情の物語を読むことを通して、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する意識を育てます（第5号）。	pp.92-95
Prog. 7	Unique Animals	動物のユニークな生態とその背景について読むことで、自然との共生や環境保全への意識を高めます（第4号）。	pp.97-106
Prog. 8	A Hope for Lasting Peace	広島に送られる折り鶴とその再利用について知ることで平和と正義を求め、主体的に社会の形成に参画する態度を養います（第3号）。	pp.107-116
OP 6	My Hero の魅力を伝えよう	尊敬する人物を紹介する活動を通して、自分の信念や責任を自覚し、主体的に社会形成に参画する態度を養います（第3、4号）。	pp.119-123
Reading 3	Apollo 13	大事故に見舞われながらも無事に地球に帰還したアポロ13号について読み、決して諦めずに真理を求める態度を養います（第1号）	pp.124-128

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. すべての生徒が学習しやすい紙面づくり

カラーユニバーサルデザインの考え方や特別支援教育の視点を取り入れ、紙面を構成しました。識別しづらい色遣いは避ける、文字を極力大きくする、手書き文字に近い欧文フォントを2種類開発する、日本語のフォントはUDフォントを使用するなど、すべての生徒が無理なく学びやすい紙面づくりを目指しました。



2. 造本・体裁など

造本は丁寧で堅牢です。また、環境に配慮した用紙やインキを使用しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-69	中学校	外国語	英語	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
9 開隆堂	英語 009-82	Sunshine English Course 2		

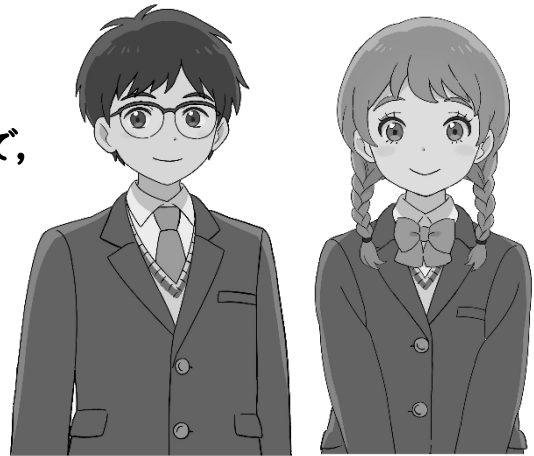
1. 編修上特に意を用いた点や特色

習得した**知識・技能**を活用して、

自ら**思考・判断・表現**することで、

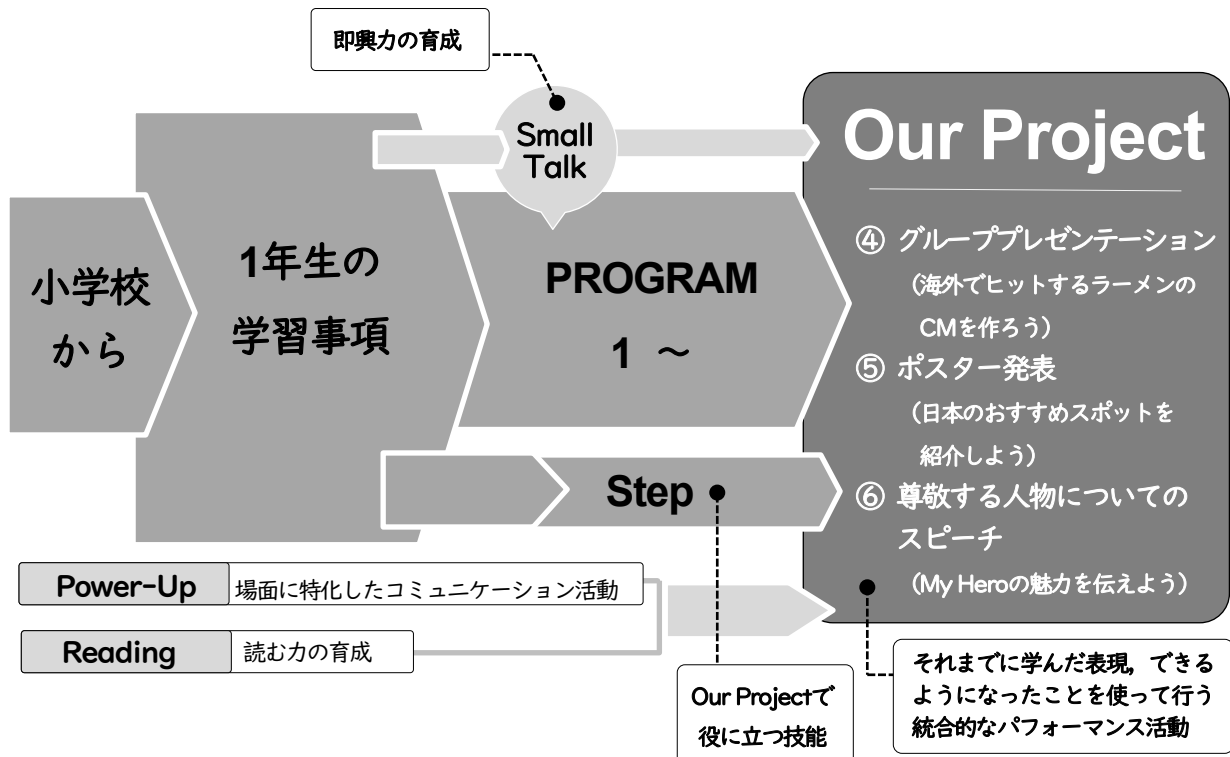
学びに向かう力と

豊かな**人間性**を育てる教科書です。



全体の構成

Our Projectを軸として、目標に向かって主体的に学習が進められる構成です。



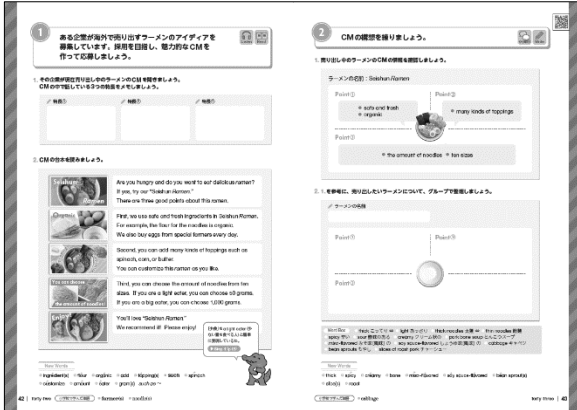
Our Project 4技能5領域を統合的に活用し、「コミュニケーションできる」喜びを実感できます。

習得した**知識・技能**を使って、自ら原稿を考え（**思考力**）、内容を取捨選択する判断をし（**判断力**）、自己表現（**表現力**）することで自信をつけます。

モデルの理解・分析 → **構想を練る・メモの作成** → **リハーサル・原稿の修正** → **本番と振り返り**



「聞く」「読む」を通して、モデルを理解・分析します。



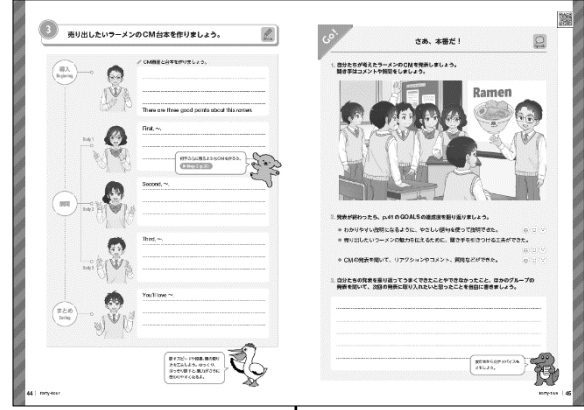
モデルを参考に、グループで構想を練ります。



プレゼンテーションの台本をもとに、グループで練習します。



「発表」し、質問やコメントなど「やりとり」し、振り返ります。



(pp.42- 45 Our Project 4)

文章の構成など、Our Projectで役に立つ技能は事前にStepsのコーナー（下記参照）で学習します。



2年生では、身近な場面設定で、聞き手に分かりやすい文章を作る工夫をしています。

聞き手をひきつける話し方を促すとともに、友だちの発表を聞き、質問したりするなど、**Good Listenerのポイント**も記載しました。
最後には「**自分の発表や、友だちの発表から学んだことを振り返る活動**」を設け、**協動的な学び**ができるように配慮しました。

Step コミュニケーションに役立つ知的生産の技術を会得します。

簡単な言い換え、魅力の伝え方、説得力のある説明など、Our Projectに連動した内容を学習します。

Our Projectの活動にスムーズに取り組める力をつけることができます。

Point

Point 1 聞き手に聞かせる
聞き手に聞かせる文を入れて説明すると、興味をもって聞いてもらえます。
◎ Do you like ~? ~は好きですか。/ Do you want to ~? ~したいですか。

Point 2 ポイントをしぼる
次のような表現を使うと、聞き手は情報を整理しながら聞くことができます。
◎ I want to tell you three points. First, ~, Second, ~, Third, ~. 伝えたい点があります。1つ目は~, 2つ目は~, 3つ目は~。

Point 3 興味を引くフレーズを使う
CMなどでは、短くて印象に残るフレーズがよく使われます。
◎ I recommend it! おすすめです!
Check it out! チェックしてください!
Don't miss it! お見逃しなく!
You should try it! ぜひお試しください!

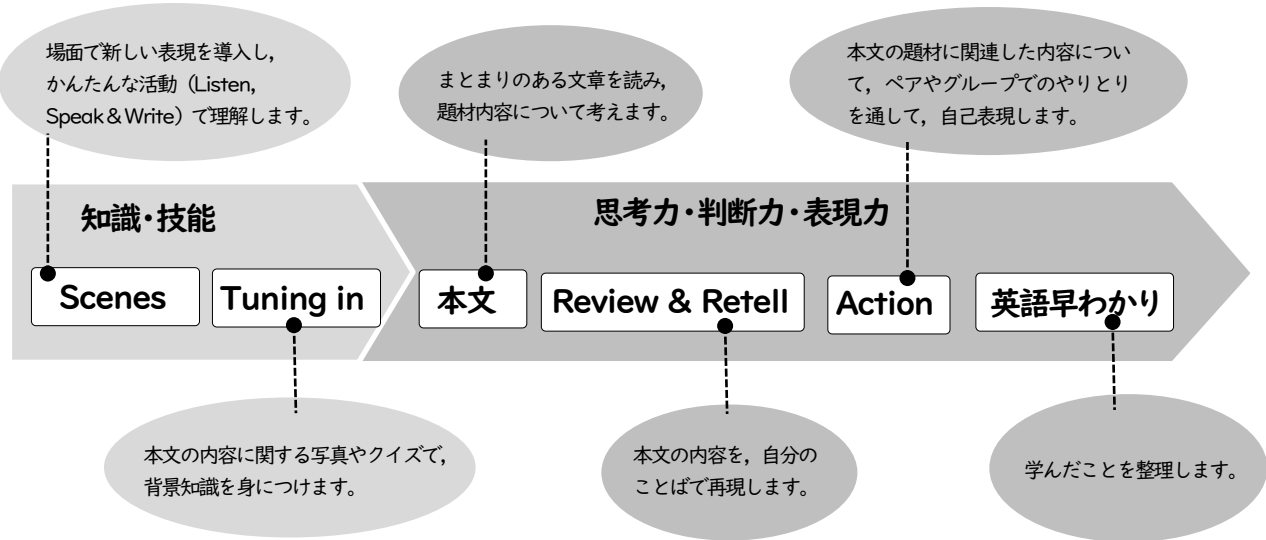
プレゼンテーションをスムーズに行うためのポイントを丁寧に提示しました。ポイントがまとめてあるので、無理なくOur Projectに向けた準備ができます。



(p.30 Step 2「魅力を伝えるためのコツを知ろう」より)

PROGRAM

学習指導要領の3つの柱の可視化を図り、基礎学力を向上させます。



各コーナーの工夫

Scenes

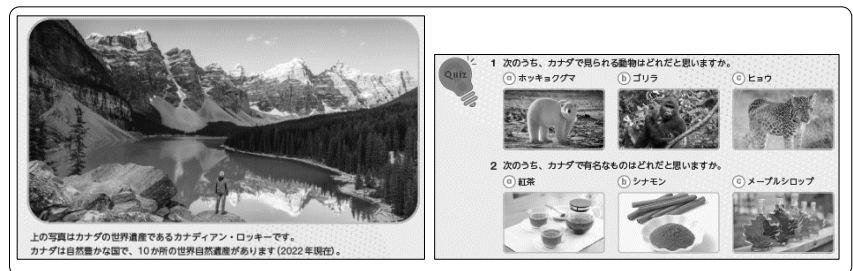
新出表現をマンガ形式で示すことにより、どのような目的や場面、状況で使われる表現かが一目でわかるようにしました。また、対話は2ターンを基本としており、ミニマムエッセンスで新出表現を理解できるように配慮しました。



(p.32 PROGRAM 3)

Tuning in

本文の題材に関連した写真やクイズ、雑学を掲載しました。内容についての興味・関心を喚起することで、主体的な学びを促します。



(p.54 PROGRAM 4)

本文

Q&Aでは、本文の内容から推測して答える推量発問を適宜設けました（下記参照）。また、本文の最終セクションには、Think（右記参照）というオープンクエスチョンを設けました。生徒に「多様なものの見方」を働かせることを促し、「深い学び」を支援します。

Q&A

- 1 What do beavers build?
- 2 Will Miki and Tom see beavers?

Think

ハイキングで大事なことは何でしょうか。

(左右ともp.57 PROGRAM 4)

Review & Retell

スモールステップで本文の要点を確認し、無理なく自分のことばで本文の内容を伝える活動としました。

また、友だちの発表を聞いて、「こんなことも言うことができた」「こんなふうに表現すればよかったのか」という気づきを促し、**自律的な学習者**を育てます。

日本語やキーワードをヒントに、次の絵や写真にあてはまるセリフや文をペアで考えましょう。

Step 1

paper clay
粘土土を買ったよ

recycled paper cranes / in the clay
その粘土には再生折り鶴が使われているよ

Step 2 Step 1を参考に、ストーリーを振り返りましょう。

Step 3 Step 1で作った文以外に、自分の感想を加えながら、すべてつなげて言いましょう。

④ I think recycling paper cranes is a wonderful idea.

(p.114 PROGRAM 8)

Action

本文の題材と関連したトピックで行う言語活動としました。

また、「自分の意見は理由をつけて話す」ことを促し、**主体的かつ対話的な学び**ができるように配慮しました。

健はダニエルと出店します。健のアイデアを読みましょう。

Step 1

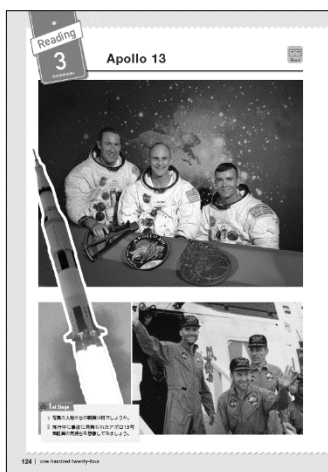
Read

I want to sell something to eat. I think *yakisoba* is good. Everyone loves its smell and taste. On top of that, we can cook *yakisoba* easily. I want to sell a lot to buy a present for Miki.

(p.39 PROGRAM 3)

Reading

心に訴える題材と、読解をサポートする設問で「読む」力を育成します。



(p.124)

1st Stage (Pre-Reading), 2nd Stage (While-Reading), 3rd Stage (Post-Reading)と3段階の問いを設置しました。

2nd Stageには、読み進めるためのサポートとなるような問いを設けると同時に、生徒の思考力を育てるような問いも設けました。

★ 1st Stage

- 写真の人物たちの職業は何でしょうか。
- 飛行中に事故に見舞われたアポロ13号乗組員の気持ちを想像してみましょう。

(p.124)

1st Stage
Pre-Readingとしての質問で題材への興味をもたせます。

★★ 2nd Stage

- アポロ13号は、月着陸を目指して、1970年4月11日にアメリカ航空宇宙局(NASA)により打ち上げられました。
- 地球に無事帰還するためには、宇宙船で使える電力はわずかにしか残っていませんでした。

✔ Check
なぜ宇宙船の帰還を待つ人々は希望を失いかけたのでしょうか。

🔍 Guess
船長からの交信を聞いたとき、地上の人々はどう思ったのでしょうか。

🗨️ Share
アポロ13号の奇跡的な帰還を可能にしたものは何だと思えますか。

(p.125,126,127)

2nd Stage
3種類の問いで、読解をサポートします。

✔ Check
本文の内容を確認。

🔍 Guess
心情、行間を読みとる推量発問。

🗨️ Share
自分の意見を述べるオープニングエスジョン。

読み進めるのに役に立つ背景情報を随所に記載しました。

★★★ 3rd Stage

✍️ Write
この物語を読んで思ったことや感じたことを英語で書きましょう。

3rd Stage
要約文の完成や本文全体について考えさせる問いで読みを深めます。

(p.128)

2. 対照表

※ Prog...PROGRAM OP...Our Project PU...Power-Up

	図書の構成・内容	主な言語材料など	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
Prog. 1	New Start	I'm going to ~. / I will ~. / I enjoyed ~ing.	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.7-16	8
Prog. 2	Koshien Project in Africa	I [don't] think (that) ~. / When [if] ~, ...	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.19-28	8
Step 1, 2	簡単な表現で言いかえよう 魅力を伝えるためのコツを知ろう	即興力の養成, 文章の組み立て方の学習	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・カ ②イ, 3(1)(2)(3)	p.18, 30	各1
Prog. 3	Taste of Culture	不定詞 (3用法)	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①ア・イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.31-40	8
OP 4	海外でヒットするラーメンのCMを作ろう	グループプレゼンテーション	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ ②ア・イ, 3(1)(2)(3)	pp.41-45	4
Reading 1	The Three Dolls	インド民話「3つの人形」	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①ウ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.46-49	4
Prog. 4	Leave Only Footprints	I'm surprised to ~. / must / [don't] have to ~	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.51-60	8
Prog. 5	Work Experience	know how to ~ / You look ~. / I'll lend you ~.	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.65-74	8
Prog. 6	High-Tech Nature	比較級, 最上級, 原級	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.75-84	8
Steps 3, 4	わかりやすい見出しをつけよう 相手にわかりやすい説明をしよう	文章要約の学習, 情報整理の仕方	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①エ ②イ, 3(1)(2)(3)	p.64, 86	各1
OP 5	日本のおすすめスポットを紹介しよう	ポスター発表	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①ウ・エ・カ ②ア・イ, 3(1)(2)(3)	pp.87-91	4
Reading 2	Friendship beyond Time and Borders	エルトウールル号が結んだトルコと日本の友情	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①ウ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.92-95	4
Prog. 7	Unique Animals	like ~ better than ... / like ~ the best / teach me how to ~	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.97-106	8
Prog. 8	A Hope for Lasting Peace	受動態	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	p.107-116	8
Steps 5	説得力のある説明をしよう	文章の組み立て方の学習	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①エ ②イ, 3(1)(2)(3)	p.118	1
OP 6	My Hero の魅力を伝えよう	尊敬する人物についてスピーチ	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①イ・ウ・オ・カ ②ア・イ, 3(1)(2)(3)	pp.119-123	4
Reading 3	Apollo 13	実話 (アポロ 13 号の奇跡/書きおこし)	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3)①ウ・カ, 3(1)(2)(3)	pp.124-128	4
PU 1~5	天気予報を聞こう/電話をかけよう/レストランで食事をしよう 他	電話や食事などの特有の場面でのやり取りの学習	2(1)ア・イ・ウ・エ (3)①イ・ウ・エ・カ ②ア, 3(1)(2)(3)	p.29, 50, 61, 85, 117	各1

計 98 (時間)